



常葉大学附属菊川高校野球部へ甲子園出場のお祝いと応援の気持ちを込め寄贈 いざ甲子園！期待を胸に、地元から球児を応援！



1 2 特産品の「アローマメロン」と「満点！ハンバーク」を贈呈 3 4 横断幕と校章フラッグを贈呈 5 6 市長表敬訪問・激励会にて深蒸し菊川茶を贈呈 7 夢咲こしひかりと夢茶ボトルを贈呈

「春のセンバツ甲子園」に常葉大菊川高校野球部が出場することを受け、地元に応援の輪が広がりました。

2月9日には、県温室農業協同組合 静南支所からアローマメロン30個とマルマツ食品有限会社から「満点！ハンバーク」51個が、24日には、同部の寮がある加茂地区白岩下自治会の有志から横断幕2枚と校章フラッグ1枚が寄贈されました。26日には、同部が市役所を表敬訪問し、長谷川市長から橘木千空主将へ深蒸し菊川茶が手渡されました。3月3日には、遠州夢咲農業協同組合から、夢咲こしひかり100kgと夢茶ボトル缶10ケースが同校の加藤伸司校長に手渡されました。また、市ではクラウドファンディングを実施。60人の支援者から総額95万2,000円が集まり、同部へ寄附しました。



茶のまちのど自慢大会 当地ソングをみんなで歌比べ

2月16日、河城地区センターで「茶のまちのど自慢大会」が開催されました。ご当地アイドル「さっきーミルキー★メロディX」のオリジナルご当地ソング「茶のまち慕情」の一曲で歌比べをする初開催のイベント。13歳から75歳までの男女11組が市内外から参加し、菊川市のまちと茶畑を演歌調で描いた歌を、丁寧に歌い上げました。最後には、審査の結果「茶のまち大賞」が決定し、受賞者には景品が贈られました。



1 フォーク調で歌い上げ大賞を受賞 2 司会で会場を盛り上げたさっきー

現役卓球選手が小中学生を指導 プロが小中学生へ直接指導

2月13日、岳洋中学校体育館で、プロ卓球選手で静岡ジェード所属の森蘭政崇選手が地域のクラブに所属する小・中学生40人に卓球の実技指導を行いました。静岡ジェードのサポートパートナーである静岡県労働金庫が取り組む地域社会貢献活動の一環として開催。森蘭選手が「基本練習を何のためにやるのかを常に頭で意識して取り組めば、プレイは上達します」と伝え、参加者たちは真剣な表情で耳を傾けていました。



1 基本を言葉で伝える森蘭選手 2 教わったことを早速実践